



令和3年 9月の保育園だより



坂みみょう保育園

『夏まつりアンケートより』

- ◆コロナ禍で、本格的な「夏まつり」の行事は、地域でもないのに、子どもにとっても親にとっても思い出に残る行事であった。先生方に感謝。
 - ◆人数制限などあったが、三部制にすることで混雑することなく十分あそびすることができた。
 - ◆時間が少なく、全部コーナーを回れなかった。
 - ◆乳児も楽しめる発達にあった工夫がされていた。
 - ◆最後に親子で頂いた冷凍パイナップルがとても美味しく、子どもと一緒に家庭でも何度か作って食べました。
 - ◆園庭のテントの下の冷凍パイナップルを食べる場所が少し密だと感じた。
- ◎8月初旬は毎日暑い日が続く、熱中症を心配しながらの開催でしたが、子ども達はいろいろなコーナーで、夏のあそびを満喫し、保護者の皆様とともに思い出に残る行事となったようでした。終了後のお盆明けより、夏まつりごっこ、お店屋さんごっこなど異年齢で関わり合いながらあそびを進め、やりとりを楽しんでいます。イメージを共有する夏まつりの体験は、自分達で創り上げるあそびの今後の大きな力になることでしょう。

『年長児・二保合同運動遊びの会』

講師：阿部玲子先生

毎年計画をしております、坂町内四こども園、保育園の合同運動遊びの会は、坂町民センターでの三密を避けるため、小屋浦みみょう保育園、坂みみょう保育園の二園で開催いたします。年長児は、9月28日(火)に、会場である小屋浦みみょう保育園へ、マイクロバスで行きますので、午前8時30分までに登園です。



体操服・水筒・愛情弁当の準備をお願いいたします。

『一人ひとりがより輝くために』 ～家庭の役割・集団の役割～

先月は熱中症警戒アラートが発令されたり、大雨警報による高齢者等避難警戒レベル3が坂町にも発令される日が続く、保護者の皆様におかれましては登園の自粛などに、ご理解ご協力をいただきありがとうございました。

コロナ禍はますます緊迫感を持つ状態になり、広島県にも緊急事態宣言が発令される中、保護者の皆様からの連絡にもPCR検査待ちとか、コロナワクチン接種をしたなどの情報が多く寄せられるようになりました。

職員も職域優先接種ということで、3日間を3グループに分けてワクチンの集団接種をしましたが、接種後に発熱して欠席する職員も多く、心配は続きました。災害と言っても過言ではないような予期せぬことが多方面で起っています。

それだけに子ども達が不安にならないよう保育園では、子ども達の多様な興味や関心を叶える場所になるよう、園庭の使えるエリアを工夫し、園内でも密をできるだけ避けるため、廊下や踊り場にもあそびのコーナーを工夫しているところです。

園庭の「自然と触れ合うことのできるエリア」「身体を使って楽しめるエリア」「自由に発想して工夫ができるエリア」「夏ならではの水を楽しめるエリア」「乳児のエリア」「ゆったり過ごせるエリア」「ごっこが展開できるエリア」など、子ども達は乳児、幼児入り乱れて遊んでいます。

室内では、先月の夏まつりを体験した子ども達が、イメージを共有しながらごっこあそびへの興味、関心を増し、言葉のやりとりを楽しむ姿も見られるようになり、少しずつあそびの空間の幅を広げながら異年齢の交流も始まりました。

お気に入りの場所で、安心するお友だちとの関係を広げながら、自分の居場所

を見つけ、異年齢ならではの遊び空間の中で、心と身体がのびのび育つことや関わりの多様性の大切さを示唆してくれているかのようです。

一方で、乳児から就学までの発達の見通しを持ちながら、保育園での子ども達の成長過程を見ていると、「生活リズムがなかなか整わないため食欲がない。」「年齢なりの身の回り処理や生活習慣が身につかない。(自分のことを自分でする)」「気持ちの切り換え力が弱く、時間がかかる。」「ルールが守れない。」などの問題点も浮き彫りになっています。

世の中が不安定で何が起きるか分からない時代を一人ひとりの子ども達の個性がより輝き、「目標を決めて取り組む」「意欲を見せる」「新しい発想をする」「周りの人と円滑なコミュニケーションをとる」など、『非認知能力の育成』や『自分で判断して行動する主体性』は、乳幼児期の家庭での大人の関わり方ひとつで違ってきます。

夕方保育園にお迎えに来られる保護者の皆様を見つけると、赤ちゃん達は、いま持っていた玩具を投げ捨てかけよったり、ずっと保育者を独占しようとしていたにも関わらず、くるっと背を向け保護者の皆様に抱きつきにいきます。

大好きな家族の存在は大きく、その役割は重要です。要求に応じてくれる大人の関わり方、基本的な信頼関係を育むための寄り添い方、しつけの仕方など、保護者の皆様も子育てに悩むことが多くあるかと思います。

今月の幼児クラスの保育参観後の講演会では、保護者会さくらんぼ会からの子育てアンケートを基に、井原忠郷先生より子育ての悩みを解消するヒントをいただけることになっています。家庭(親)の役割、集団(保育園)の役割について、子ども達一人ひとりの個性がより輝くよう一緒に考えてみませんか。

(園長 倉本弘子)

幼児クラス保育参観・家庭教育学級

広島県下、坂町でも新型コロナの感染数が増えているところですが、保護者の皆様とともに感染拡大予防をしながら、新入、進級から半年を過ごした子ども達を参観していただいたり、家庭教育学級講演会を開催し、主体性を軸に、現在大切にしなければならぬ親や集団の役割について、ともに考える機会になればと思っております。なお、三密を避けるため、保護者の皆様の参加は一名とさせていただきますが、幼児クラスにきょうだいがおられる場合は、それぞれの子どもさんに一名です。(小学生のご来園はご遠慮ください。)

健康観察表には必ず家族の健康状態も記載をしていただき、来園時には子ども達とともに、保護者の皆様の検温もお願いすることになりますので、ご協力をお願いいたします。体調の悪い方や県をまたぐお仕事などを近々でされた保護者の皆様は申し訳ございませんがご遠慮ください。

日時：9月11日(土) 午前9時～11時40分
保育参観 午前9時～10時20分
(各クラス・園庭)

家庭教育学級 講演会
午前10時30分～11時40分
演題：『主体性を育てる
～親の役割・集団の役割～』
講師：聖愛幼稚園
せいあい幼児教育研究所
井原 忠郷 先生

※送迎以外の駐車場の利用はできません。
※熱中症対策のためマスクの着用の有無はお任せいたしますので室内、園庭と使い分けてください。水分補給の対策も合わせて、お願いいたします。
※家庭教育学級時の未入園児の託児につきましては、事前の申し込みをされた方以外は利用できません。
※乳児クラスにきょうだいがおられる場合は、講演会終了まで保育をしますので、担任までお知らせください。(給食有)



保護者会さくらんぼ会主催の 行事について(延期のお知らせ)

9/8(水)中埜房江先生の平和紙芝居と
9/14(火)おんぷらんとさんの大道芸
観賞は、10月～12月の期間に延期いたします。日程が決まりしだいお知らせいたします。

